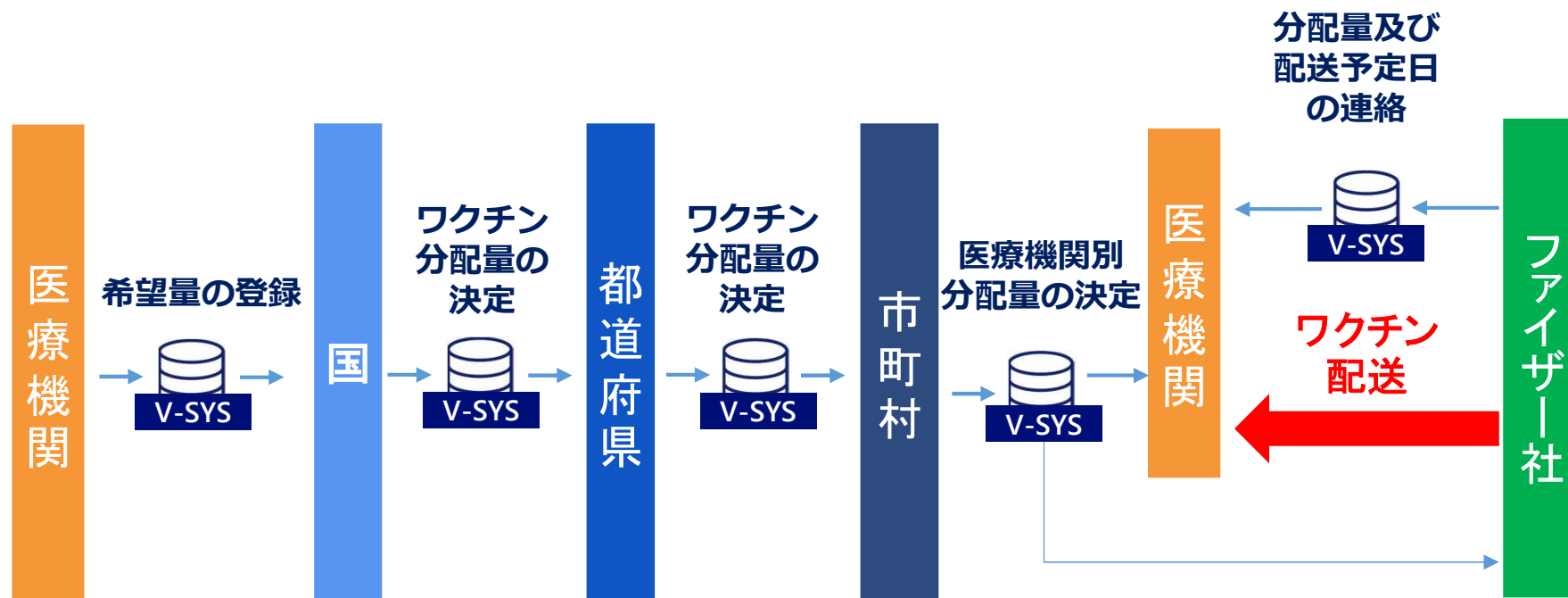


ワクチン配分方法のイメージ（ファイザー社の場合）

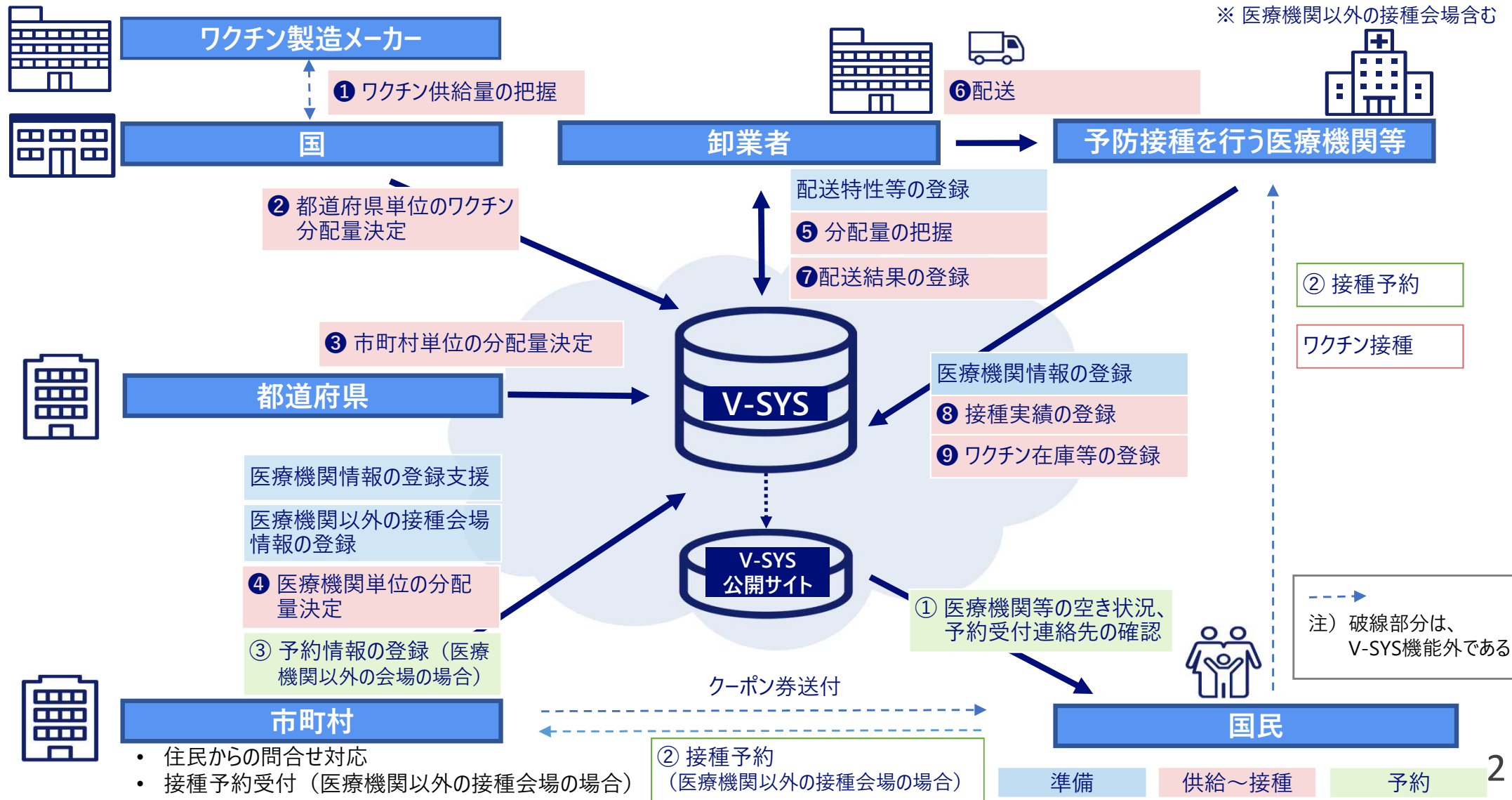
- ワクチンの分配・流通については、周期的に（月2～3回を想定）、地域ごとのワクチン分配量の決定を行い、委託先医療機関・接種会場等に分配する。
- 情報のやりとりは、各機関がV-SYS（ワクチン接種円滑化システム）へ入力することにより、自動的に次の機関に伝達される。

接種期間中、ワクチン分配量の決定を周期的に繰り返して行う。



ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）

- 国・都道府県・市町村は、ワクチン等の割当量を調整し、卸業者は、割当量に基づき各医療機関等にワクチン等を配送する。医療機関等は、接種実績やワクチン在庫量を報告する。
- 国は、クラウド上にこれらの情報伝達・共有を行うためのシステム（V-SYS）を構築する。
- 接種を行う医療機関等の情報については、国民がタイムリーに把握できるよう、V-SYS登録情報に基づき公開する。



- ・ 住民からの問合せ対応
- ・ 接種予約受付（医療機関以外の接種会場の場合）